

700回記念例会で、中山さん（仮名）が、体験を発表しました。その内容を紹介します。

# 「見守ろう」の自分に変わった時

中山といいます。このような場所に立つ事は不慣れで、緊張していますが、よろしくお願ひします。

私には、24歳になる息子がおります。息子が小学校の頃離婚をし、息子と長女（姉）の3人家族になりました。小学校時代は、勉強も身のまわりのこともきちんとし、まったく手のかからないおとなしい子どもでした。私はそれをいいことに、仕事にあけくれていたと思います。

中学に入学し、勉強に部活にがんばっていた中2の1学期から体調をこわすことが多くなり、夏休みを期にほとんど学校へ行けなくなりました。私は何が何だかわからなく、学校に行けなくなった原因を知りたくて、学校の先生やカウンセラーの先生に相談したり、心療内科に連れて行ったりかけまわっていました。その原因をつきとめて、それを解決すればまた学校へ通えるようになる…と書いていたのですが、そんなに簡単ではありませんでした。

その頃の息子はひたすら眠っていました。多いときは、1日に18時間も眠っていたことがありました。日夜逆転の生活をなおそうと、朝になるとぐったりしている息子の手をひっぱりおこそうとしたり、朝光をあびるのがいいと聞

くとライトをあてたりと…ひどい母親でした。

中学3年生になってもほとんど学校には行けませんでした。とは言え、体調は悪いままで休みがちで、補講を受けながらなんとか卒業をむかえることができました。

AO入試で大学にも合格できました。大学の入学式を終え、次の日のオリエンテーションから帰ってきて疲れきった表情の息子…。そのまま大学には行けませんでした。2年間の休学のち、退学届けをだしました。私はこれから、どうしたらいいのかまったくわからなくなっていました。

そんな時、中学の不登校の親の会でお世話になった方に偶然出会い、「アンダンテ星の会」の事を聞き、藁にもすがる思いで参加しました。数名の親御さんが集まり、自分の思いを語り合っていました。共通している事も多く、そのつらさもよくわかりました。重い内容にもかかわらず、「アンダンテ星の会」は、明るく、笑いもあり、とてもなごやかな雰囲気です。私の心はいやされました。

わたしも自分の思いを話していたら、加嶋さんから「中山さんは、親としてできることは全

てやってきましたね」と言葉をかけていただき、ガチガチだった肩の力がスッとぬけていたのを今でもよく覚えています。息子の様子に一喜一憂し、あの時、ああすればよかった、今度は何をすれば…と思いつめていた自分から「待とう」「見守ろう」の自分にかわっていきました。

もちろん、迷いがでてくることもありましたが、「アンダンテ星の会」に顔をだし、これでいいんだと、また思いなおして…のくり返しでした。

2年くらいたった頃、息子は自分の辛かった思いを少しずつはきだすようになりました。離婚のこと、父親のこと、小学校の頃は家ではいい子にしないととがんばっていた事、現実逃避でゲームばかりしていたこと、学校で嫌がらせされたこと、部活でがんばりすぎたこと…。自分がどうしてこうなったのか自分を知りたい・聞いてもらいたいのに、誰も心によりそってくれなかったこと…きりがなほど話をしてくれました。辛くてたまらなくて、家族で泣きながら話をすることもありました。

そんなある日、「アンダンテ星の会」のことは息子にも話していたのですが「家でできる仕事がないか加嶋さんに相談したい」と言ってきたのです。さっそく連絡をとり、家にきていただきました。今、少しずつ仕事をはじめています。

まだまだ体調も万全でなく、不安定な時もありますが、自分のやりたいことなど、少しずつ考えられるようになってきたようです。息子が、自分自身で考え、やりたい事をみつけたらその時は、できるかぎりの応援をしたいと思います。

（プライバシー保護のため、事実と少し変えています）

※連載している「親が不登校の子どもと向き合うためには何が必要か」は紙面の都合でお休みです



挨拶をする立川さん

# 参加者の声

■やはり、答えは本人が持っていると言うか、自己決定をまつ「啐啄同時」という言葉が頭に浮かんできました。どちらの立場で考えていたのかを考えさせられました。まず、全く自分の立場で考えていたことに気づけたかもしれません。得るものが大きかったです。（Oさん）

■星の会に参加して、同じ悩みを持つ保護者や加嶋さんが、心を聴いて下さり、共感して下さることで、ずいぶん心が楽になりました。自分も子どもの「どうすることもできない苦しさ」を聴きとれるよう、また、子どもの立場で提案できるようになれたらと思います。（Mさん）

■不登校の子ども心の動きや思いを詳しく考えたり、学ぶ事ができて良かったです。学校は「牛乳」や「高速道路」であるという例え（概念）を聞いて、子どもを無理に動かそうとしてもダメなど基本的な事も学ぶことができて良かったです。保護者の苦しみを理解していく姿勢をもって、学校現場の仲間と共に「解決」とまでは言いませんが、心を軽くできるような養護教諭になりたいと思いました。（Gさん）

■息子の事、どうして良いかわからずに来ました。お話が聞いて良かったです。今まで私が息子に話していたことは説得ばかりで、辛い思いをさせていたんだと改めて思いました。これからは子どもの立場で話ができるようになれば…。難しいと思いますが。（Oさん）

寄付のお礼 佐嶋さんより、切手の寄贈がありました。ありがとうございました。

おねがい

## 原稿をお寄せ下さい

- 感想・体験 ●伝えたい情報
  - その他不登校に関すること
- <メール> toiwase@hoshinokai.net  
<FAX> 0972-24-3557

## 寄付のお願い

活動を継続・発展させていくために寄付や切手等の寄贈をお願いしています。力をかけて下さい。尚、寄付・寄贈していただいた方は会報で紹介させていただきます。

郵便振替

<口座記号番号> 01710-8-142651  
<加入者名> 不登校を考える星の会

原稿は、FAXかメールでお寄せ下さい。掲載の際に匿名・インシヤルなど希望する場合は、そのことを書き添えて下さい。

## 12月の例会予定

- 屋の大分例会…12月3日(土)13:00～16:30
- 別府例会…12月4日(日)13:00～16:00
- 豊後大野例会…12月8日(木)19:00～21:30
- 津久見例会…12月9日(金)19:30～21:30
- 夜の大分例会…12月16日(金)19:00～21:30
- アンダンテ星の会…12月18日(日)10:00～12:30
- 湯布院例会…12月22日(木)19:30～21:30

会報発送のボランティアを募集しています。協力していただける方は河野さんまで連絡をください。

## 会報発送作業

- 11月24日(木)14:00～
  - ジョイフル米良店
  - お尋ねは河野
- (080-5272-9360)まで